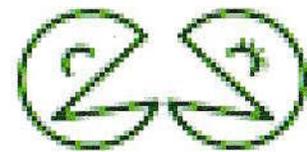




日本笑い学会関東支部第254回例会



『物まねの歴史』 ～仏教・笑い・芸能～

どなたでも参加OK 申込み不要
参加費：1,000円（会員無料）

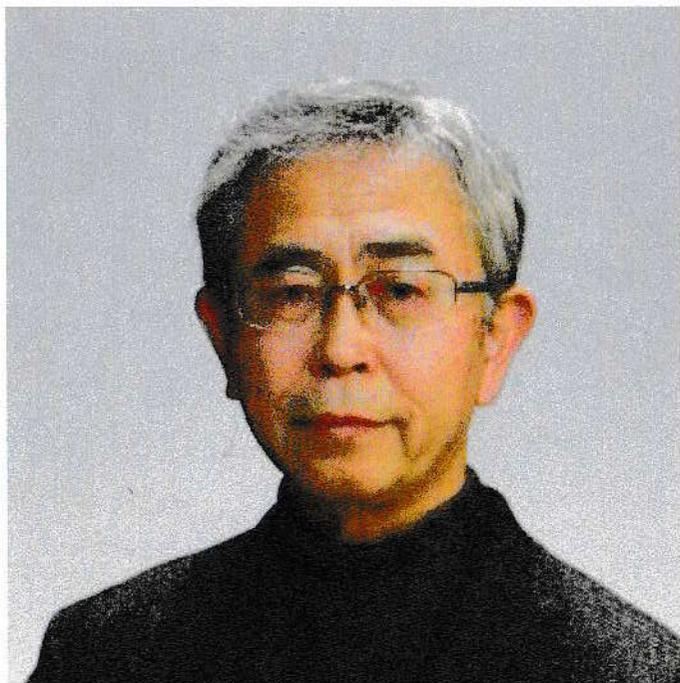
12月16日（土）

開場 14:00

講演 14:30～16:30

会場：台東区民会館8階
台東区花川戸2丁目6-5
（浅草駅歩5分）

※例会後、懇親会あります（自由参加）



【プロフィール】

1950年、東京都に生まれる。早稲田大学第一文学部東洋哲学専修卒業。博士（文学）。駒澤大学仏教学部教授（現在、学部長）。アジア諸国の仏教教理、および文学・芸能・近代ナショナリズム・酒・冗談などと仏教の関係を研究。日本では、駄洒落は冗談交じりの僧侶の説法や、法会後の宴会で詠まれた和歌を通じて発達したと主張しているため、まじめな国文学者には評判が悪い。著書は『華嚴思想の研究』、『聖徳太子—実像と伝説の間』、『くものまねの歴史』など。

【講演概要】

日本ほどものまねが盛んな国はなく、ものまねに関する文献がこれほどたくさん残っている国はありません。伎楽・能・狂言・歌舞伎・落語など、日本の芸能の多くは、ものまねを根本としており、しかも仏教と深い関係にありました。これらの芸能は、聖徳太子の頃から笑いの要素、それもかなり猥雑な要素や駄洒落を含んでいたようです。それが洗練され、形式化されることによって、古典芸能と呼ばれるような上品なものになっていったのです。講演では、仏教との関係に注意しながら、ものまねと芸能と駄洒落の歴史をたどってみます

講師：石井公成氏
（駒澤大学仏教学部教授）

主催：日本笑い学会関東支部 お問合せ先：野中由彦 080-5897-5481



日本笑い学会・関東支部

・ ・ ♪♪♪♪♪ ・ ・ **今後の研究会の予定** ・ ・ ♪♪♪♪♪ ・ ・

第255回 研究会 <注>第3土曜日です!

日時：2018年1月20日(3土) 14:30～16:30 (開場 14:00)

テーマ：どん底は笑い飛ばせば消えていく <仮題>

講師：川又 三智彦 氏 (元ツカサウィークリーマンション社長)

場所：台東区民会館・第5会議室(8階)

※研究会終了後に同会場にて年末懇親会を開催予定

第256回 研究会 <注>第3土曜日です!

日時：2018年2月17日(3土) 14:30～16:30 (開場 14:00)

テーマ：<検討中>

講師：淵田 科 氏 (山中胃腸科病院理事長/日本笑い学会三重支部長)

場所：台東区民会館・第5会議室(8階)

第257回：2018年3月17日(3土)

第258回：2018年4月21日(3土) ※会場は8階第2会議室

第259回：2018年5月19日(3土)

第260回：2018年6月16日(3土)

◎日本笑い学会・関東支部20年のあゆみ(記念誌)好評!

日本笑い学会・関東支部は設立20周年を迎えました。

去る2014年12月20日(土) 明治大学駿河台キャンパスにおいて、「記念式典」「記念講演」「記念シンポジウム」「記念パーティ」を開催しました。席上、20周年記念誌「関東支部20年のあゆみ」が出席者に配布されました。

この記念誌は「記録を大切に、記憶に残る記念誌として」を目標に編纂されました。ご希望の方には、実費1,500円/冊(送料別)にてお分けしております。関東支部のホームページからお申込み下さい。

約144頁、目次→はじめに、各支部からのメッセージ、関東支部研究会の記録(第1回～第217回)、研究会の聴講録(平成23～25年度)、研究会講師の研究ノート、関東支部会員の声、フォトアルバム、関東支部研究活動の年表(20年間)等です。

◎ 笑い関東の研究会は、日本笑い学会の会員以外の方でも参加できます。特別な場合を除いて、予約の必要はございませんので、友人・知人にもお声をかけていただき、大勢での参加をお願いいたします。
(会員以外の方は参加費を頂戴いたします)



日本笑い学会のロゴ



成瀬国晴 画

日本笑い学会 関東支部

〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1

東京ボランティアセンター メールボックスN0. 54

E-mail : un_ei-01@warai-kanto-0808.org

ホームページ : <http://www.warai-kanto-0808.org>